浄土寺だより

浄土真宗本願寺派
石見真宗根本精舎

ともしび

令和２年４月号　Vo163　発行 200412

〒699－4621
島根県邑智郡美郷町粕渕354
浄土寺　門信徒会
TEL　0855－75－0064　FAX　0855－75－0264

月々のことば

五月十七日（日）降誕会法要
役に立たなければ価値がない
その常識をひっくり返す仏法

六月十七日（水）四季講（予定）
一杯のお茶に合掌掌
その姿に頭がさがる

七月五日（日）安居会
アミダさまとバッタリ遇った
十劫待ったぞとニッコリ

八月十九日（水）盆法座
「私に限って間違いはない」
争いの因はここにある

九月二十二日（火）秋彼岸法座
「いろいろあったねご苦労様」
ご縁尽きてお浄土に

十月十六日（金）芋法事
仏法は
この人生を輝かせてくださる

浄土寺の令和二年度の主な行事

一月・元旦修正会（一日午前）年始
　御正忌（十六日）十五日晩大逮夜
二月・仏婦総会（二十三日）佐々木かおり師
三月・初法座（五日）中止
　春彼岸法座（二十一日）住職
四月・永代経法要（二十日～二十一日）
　講師　三次市　善徳寺　長谷川憲章師
　門信徒総会　二十一日
五月・降誕会法座（十七日）・初参式・子ども食堂
六月・四季講（十七日）藤丸智雄先生（予定）
七月・安居会（五日）佐波組仏婦総会兼ねる
八月・盆法座（十九日）管　和順師（宣教会）
九月・秋彼岸（二十二日）未定
　前々坊守祥月命日　前住職追弔法要
十月・芋法事（十六日）仏教入門講座
十一月　報恩講（二十日晩～二十一日）
　仏婦報恩講（二十一日午前）
　講師　広島　長岡正信師
十二月　歳末法座（十六日）仏教入門講座

大晦日（三十一日）除夜の鐘つき
十一時半から　竹灯籠ライトアップ

リビング法話

「見えない不安」

住職　西原真公

今年に入り、すさまじい勢いで新型コロナウィルス感染症（COVID-19）の感染拡大が広がっています。行事が中止となり、会議も短縮したり、延期になったりとすべての活動に影響を及ぼしています。

このコロナウィルスの怖さは言うまでもなく、感染するとたくさんの方が亡くなっていくことです。日本でも百名近くの方が亡くなり、世界では七万人の方が亡くなっています（四月五日現在）。そして四月に入り感染者も増え続けています。誰一人気に掛かるものも病気となり得るものです。さらにワクチンも開発ではなく、特効薬もありません。私達はだもかあるこまそ、家族がちらろん感染した場合には職場・社会などへの影響を考える余計に恐ろしくなってしまうのです。

私達ができることは、予防としてマスクや手洗いをして三つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）をできる限り避けることですが、しかし普段からの習慣がないと、つい疎かになりがちです。それでも徹底しておかないといけないのです。

私達の日常生活でも様々な支障が出てきています。マスクを発端とした物資の買い占め、現在では都市部を中心とした外出を控えるようにとの指示により食料品などの買い占めが起こっています。言うまでもありませんが先が見えない不安から買い占めは起きます。そして買い占めの報道等を見ると思い出されるのが、詩人であり書家の「相田みつを」さんの言葉です。

『うばい合えば足らぬ　わけ合えばあまる』

このことばの続きには

うばい合えば　あらそい、分け合えば　やすらぎ
うばい合えば　にくしみ、分け合えば　喜び
うばい合えば　不満、分け合えば　感謝
うばい合えば　戦争、分け合えば　平和
うばい合えば　地獄、分け合えば　極楽

とあります。

この言葉が私に大きくのし掛かってきます。

人間は不安になると安心するために過剰な行動をします。私もそうです。普段でも自分中心の生活をしている私です。ましてや不安が重なると、より自分本位になりがちです。買い占めの問題についても、「自分が必要な分を考えて買わないと、他の人も困ってしまう」ということを頭では分かっていても、予備として、先に必要以上のものを買ってしまいます。品薄になったらと不安に陥り

仏教には『**少欲知足**』という言葉があります。「欲を少なくして足るを知る」という意味ですが、私の姿は少欲知足とは真反対な行動をしていました。恥ずかしいやら、情けないやら・・・。ならばこそ、同じ時代を生きる者として手を携え、助け合って生きていかなくてはなりません。自分の欲望に振り回されながらも、このコロナウィルスが早く終息することを願い、今できる精一杯のことをさせて貰うだけなのです。

合掌

一日研修旅行

十二月五日、三名の参加で、大田市大田の明善寺様の報恩講に参拝しました。当日は住職様や坊守様の温かい歓迎を受けながら、まごころこもったお斎をいただき、ゆっくりお聴聞できることを喜び、最良のひとときを過ごさせていただきました。来年もどこかの報恩講にお参りに行きたいと思います。

納骨堂入所募集並びに合同墓（合祀墓）希望者募集します

核家族化という家族制度の変化や少子化の進化で、お墓を守る継承者がいない環境にある方々が増えつつあります。このような悩みを解決する手段として、継承者に代わり、お寺でお預かりして永代に維持、管理をしていこうという考えで昨年、合同墓を増設しました。

四月現在76基中**8基の空き**となりました。あと少し余裕がございますのでご検討してみて下さい。納骨堂は門信徒の方々にご利用頂くことによって、浄土寺の護持とご法義の繁盛に大きく貢献するものであります。今後とも皆様のご協力を賜り、お念仏の絆を深めていただくことを念願し、ご案内申し上げる次第です。

合同納骨所は一体（一壷）十万円、合祀の場合五万円と設定しております。ご希望がありますればお気軽にお寺にお尋ねください。

令和二年度浄土寺聞信仏教婦人会総会

二月二十三日（日）午前十時より浄土寺聞信仏教婦人会の総会が開催されました。真宗宗歌斉唱、十二礼で始まり、予決算、活動方針を決めて、ダーナ献金に続き、益田市の佐々木かおり先生よりご法話をしていただき、尊いご縁にあいました。

今回もバイキング形式での懇親会を行いました。みなさん思い思いの料理を手に取り、たくさん頂きました。後半は坊守の紙芝居、前坊守のクイズなど大いに盛り上がり楽しみました。

初参式　五月十七日（日）参加者募集！

宗祖降誕会法要（親鸞さまのお誕生お祝い法座）に当たり浄土寺本堂に於いて浄土寺聞信仏教婦人会の主催で、恒例の赤ちゃんから二歳までの初参式を行います。

昨年の一月以降にお生まれになった赤ちゃんは是非とも仏縁に会う初参式をお受けになるよう、お勧め致します。当日は赤ちゃんの手形足形の記録採取や記念品を贈ります。

浄土寺ホームページのお知らせ

浄土寺のホームページが完成しました。

ところどころ工事中もあり、まだ完璧ではないですがどうぞアクセスしてください。

「美郷町　浄土寺」、「粕渕　浄土寺」で検索できます。

アドレスは　http://www17.plala.or.jp/joudoji1306/　です。

フェイスブックもしていますので、こちらも閲覧して下さい。

「浄土真宗本願寺派　島根浄土寺」で検索してみて下さい。『いいね!』をクリックして下さい

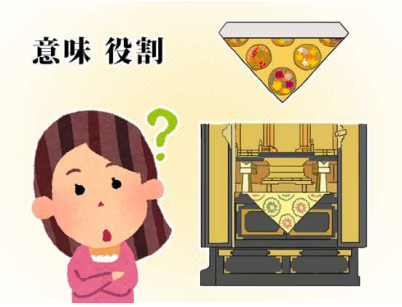
打敷とは？

打敷とは、「うちしき」と読み、仏壇に飾る荘厳具の一種です。金襴で織られたきらびやかな布で、仏壇に置かれる卓の天板の下に挟んで使用します（逆三角形の形をした布）。

元はお釈迦様が座る高座に、弟子たちが自分の着物を敷いたり、花を飾ったりしたことが起源とされています。お釈迦様は主に外で説法をしていたので、座るのは石の上や地面でした。「さすがにそれでは……」と思う弟子も少なくなかったのかもしれませんね。

お釈迦様が亡くなってからは、仏像の前の卓の上に敷かれるようになりました。

打敷の「打」には「張る」という意味があり、卓上に張って敷くことからその名前がつけられました。卓の幅よりもやや大きく、左右に垂れる部分があるのが正式な形と言われています。



打敷を使うタイミング

家庭のお仏壇では、年中敷きっぱなしの打敷も見られますが、本来は法事や法要など正式な仏事のときに、より厳粛な雰囲気を表すためのものなので、平時はしまっておいた方がよいでしょう。法事や報恩講、お盆、正月、祥月命日などが望ましいです。

打敷のかけ方は、まずは上に乗っている仏具をどかし、お仏壇から卓を取り出します。卓は天板や下須板と呼ばれる上部の板が本体に乗っている状態なので、それを外すようにします。そして本体の上に打敷の白い布の部分を置き、天板で挟みます。

左右のはみ出した部分を前から見たときに下に向かって広がるように折り込み形を整えます。お仏壇に戻して、卓の上に仏具を戻せば完成です。

夜桜ライトアップ

今年は暖冬でしたが、三月二十日に咲き始めました。桜の開花は例年より十日前倒しでしたが、毎年恒例の夜桜ライトアップは今年も実施されました。

永代経懇志進納の方々【令和二年四月一日現在】

（令和元年十一月から令和二年四月まで）

釋発意（俗名：有馬フイ）　施主　池田　浜崎　勲　殿

匿名　一名

忝なくお受けし教化の資とさせて戴きます

永代経懇志とは故人が今生でお念仏に遇い、往生の素懐を遂げた証（しるし）であり、この境涯での形見を上置きとして遺す意味であります。

勿論、亡き人の永代に亘る読経法要の布施ではありますが、上納懇志のすべては聞法道場である本堂の保全、荘厳・仏具備品に当てられ、故人の倶会一処の「願い」が永代に亘り鳴り響き、子々孫々まで「お念仏のいのち」が繋がれて往く事になるのであります。

浄土寺では還浄された故人の尊名と法名を永代まで法名軸に奉安顕彰し、永代に亘る祠堂読経のご懇念としてお受けさせて戴きます。

おさそい　案内

令和2年4月20日晩席　21日日中

浄土寺総永代経法要

講師　三次市　善徳寺

長谷川憲章　師

今年は新型コロナウィルスの感染拡大予防の為、お斎は中止とし、時間を短縮して勤修します